



建築物総合環境計画概要書 新築

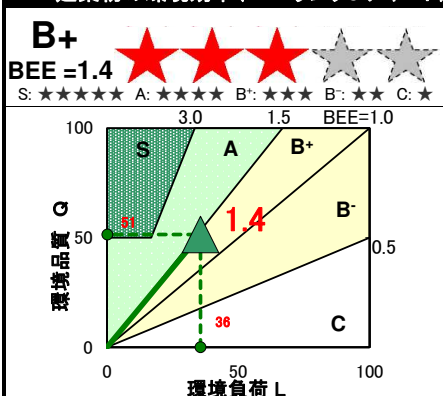
■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

1-1 建物概要

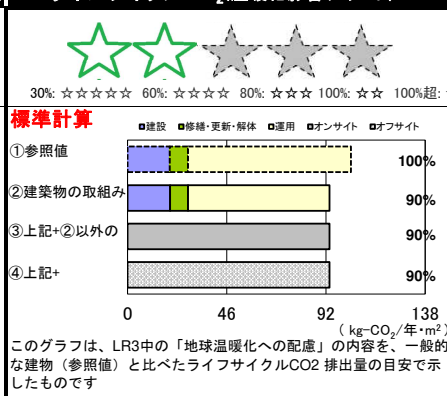
建物名称	(仮称)プレサンスロジェ鶴見区緑二丁目新築工事		
建設地	鶴見区緑二丁目		
建築用途	共同住宅		
建築主			
設計者			
敷地面積	1,155.73	m ²	
建築面積	371.80	m ²	
延床面積	3,720.08	m ²	
構造/階数	RC造	/	地上13階
完了年(予定)	2027年11月		

1-2 外観

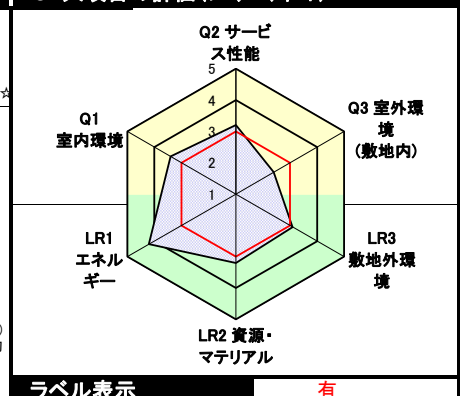
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



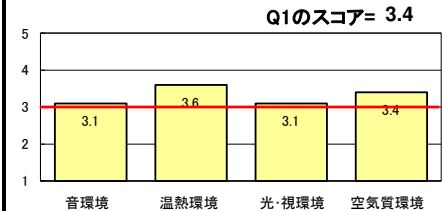
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



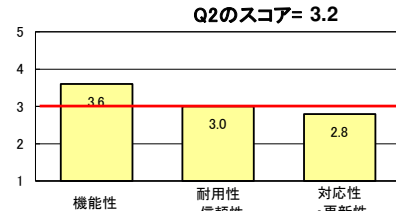
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

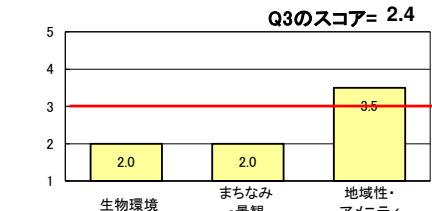
Q1 室内環境



Q2 サービス性能

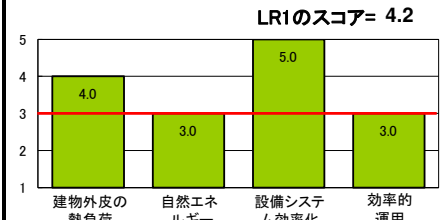


Q3 室外環境(敷地内)

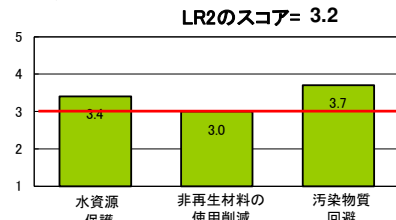


LR 環境負荷低減性

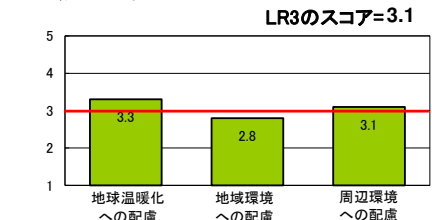
LR1 エネルギー



LR2 資源・マテリアル



LR3 敷地外環境



3 設計上の配慮事項

総合

省エネ機器(LED照明、エコジョーズ)を設置するとともに適切な断熱材を計画する事で断熱性能、一次エネルギー消費量に配慮した。

その他

特になし。

Q1 室内環境

外皮性能を断熱等性能等級4を満たす性能とすることで温熱環境を向上させた。

Q2 サービス性能

構造部材を痛めることなく設備修繕が行えるように計画した。

Q3 室外環境(敷地内)

中高木を多く植栽し敷地内の緑化に努め温熱環境の向上に努めることで、アメニティへの配慮を行っている。

LR1 エネルギー

省エネ機器(LED照明、エコジョーズ)の採用により設備システムの効率化を図った。又住戸の外気に面する床、壁、屋根には高い断熱性を有する工法とし、外皮の熱負荷抑制を図っている。

LR2 資源・マテリアル

オゾン層破壊係数や地球温暖化係数が極めて小さい断熱材の採用により汚染物質含有材料の使用回避を図っている。

LR3 敷地外環境

省エネルギー化により、ライフサイクルCO₂排出率を抑制し、地球温暖化へ配慮した。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.4

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO2削減	3.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮 3.3 ライフサイクルCO2排出率削減に配慮した。
配慮事項	ライフサイクルCO2排出率削減に配慮した。

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出 2.0 特になし。
Q3 / 3 / 3.2/	敷地内温熱環境の向上 4.0 中高木の植栽を可能な限り行った。
LR3/ 2 / 2.2/	温熱環境悪化の改善 3.0 特になし。
配慮事項	敷地内温熱環境に配慮した。

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制 4.0 5-1断熱等性能等級4相当
配慮事項	建物の断熱に配慮した。

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	5.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化 5.0 一次エネルギー消費量削減に重点を置いた。
配慮事項	建物全体のBEIを0.93とした。

省エネルギー基準計算結果

基準 適合状況	適合
------------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること（新築時）
 （基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること）

	住宅部分（品確法等級）	非住宅部分[BPI][BPI _m]
外皮性能	等級4 (相当)	-
	建物全体[BEI][BEI _m]	住宅部分[BEI]
一次エネルギー消費量	0.84	0.84
		非住宅部分[BEI][BEI _m]
		-